



写真:ツガ (撮影:平成26年2月27日)

「モミ・ツガ」

アバダントしらとり郷土の森などで、モミ・ツガの大木が堂々とたたずんでいるのを見ることができます。

冬の森はミズナラなどの落葉の針葉樹の姿が目立ちます。広葉樹が葉を落とし、常緑の針葉樹の姿が目立ちます。

針葉樹は細い葉をもち、種子は果実を持たず、松かさ状のうろこに包まれています(球果)。霧島山で見られる針葉樹にはアカマツ、モミ、ツガ、ハリモミ、カヤなどがあります。甕岳の針葉樹林は、国の天然記念物に指定されています。

モミ・ツガの仲間は、クリスマスツリーに使われる種類で、雪が積もると飾り付けをしたようにきれいです。現在は、モミ・ツガの大木は少なくなりましたが、大池登山道沿いやアバダントしらとり郷土の森などでは、大木が堂々とたたずんでいるのを見ることができます。

モミとツガはよく似ていますが、葉の先端が尖っているのがモミ、尖っていないのがツガです。また、モミの球果は6〜10cmで鱗片がばらばらになって落ちる、ツガの球果は小さく2〜3cmくらいなどの違いで見分けることができます。
(文/えびのエコミュージアムセンター)

モミ
Abies firma

マツ科モミ属

ツガ
Tsuga sieboldii

マツ科ツガ属